

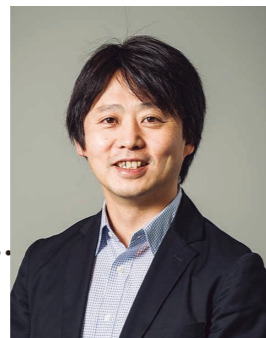
真の企業競争力を実現する

ローコード開発プラットフォームとしての intra-mart Accel Platform

機能を「つなぐ」ことで

加速する生産性の向上





株式会社NTTデータ イントラマート
代表取締役社長 中山 義人

コロナで大騒ぎが続く中、長雨、猛暑、台風……。人間の力ではコントロールできない事象が続きますね。これからもリスクはゼロにすることはできないので、いかにしてリスク時に柔軟かつ素早く対応していけるかが重要になってくると思います。

ITにおいても同様です。DXを対象としたシステムでは、計画通りに進められるプロジェクトはむしろ少なく、開発中に出てくる仕様変更に対する柔軟性と対応能力がより求められることとなります。

ローコード開発はその1つの答えとなります。生産性の向上というメリットもありますが、私はこの柔軟性というメリットを重視しています。今回の特集では開発メンバーへの取材を中心に取り上げました。ぜひ参考にいただき、実際のプロジェクトで使ってみていただきたいと思います。intra-mart LIVE 2020でもこのローコード開発は大々的に取り上げてまいります！

ネクストノーマルをリードする 真の働き方改革とは？

～成功の カギは業務プロセスのデジタルオートメーションにあり～

開催日時
11月17日火 - 20日金の4日間

開催形式
Web配信
18日水、19日木はLive配信を予定

intra-mart年間最大イベントの開催日程が決定しました。今年はイベント名を「intra-mart LIVE」とし、オンラインにて開催します。intra-mart LIVEでは、ITの活用によって業務改革に成功している事例を取り上げながら、市場のトレンド、intra-martシリーズの最新情報をお伝えします。今回は「ネクストノーマルをリードする真の働き方改革とは？～成功のカギは業務プロセスのデジタルオートメーションにあり～」をテーマとし、DX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組みによっていかにお客様の業務課題を解決し、企業競争力向上に寄与するか、業務プロセス改善、脱ハンコ、ローコードをキーワードに各セッションにてご紹介いたします。参加費は無料。みなさまのご参加をお待ちしております！

intra-mart LIVE 2020は事前申込制です。9月下旬、右記URLにて申込サイトをオープンします。>>> <https://www.intra-mart.jp/live2020/>



編集者より一言

こんにちは！イントラマート季刊誌「IM-Press」編集担当の藤原です。今号では「ローコード開発」をメインテーマとし、弊社開発本部に取材した内容を特集記事「ローコード開発プラットフォームとしてのintra-mart Accel Platform」としてまとめました。他、注目のイントラマートパートナーソリューションNTTデータ九州さまの「BeAd」(ベアド)のご紹介などを掲載しております。今号も注目の情報が満載ですので、ご一読くださいませ！

イントラマート社では最近松屋の自動販売機を導入し、ランチの時間は熱々の牛丼を食べるのがトレンドです。はやいの、うまいの、やっすいの〜！ということで、藤原もよく食べて元気に頑張っています。誰でも購入できますので、イントラマート・赤坂オフィスにいらっしゃることがあれば、ぜひ食べてみてください。



松屋の自動販売機

intra-mart Award 2020

イントラマート社では、お客様のビジネス推進や満足度向上、製品・サービスの品質強化、パートナー企業とのさらなるリレーションシップの強化を目指しています。intra-martビジネスでの高い功績をあげられたパートナー企業に感謝の意を表し、毎年「intra-mart Award」を発表しています。今年はオンライン開催のintra-martパートナー会にて、年間の販売実績や先進的なプロジェクト実績、技術者育成・開発力強化における貢献など、合計4部門において8社のパートナー企業を表彰しました。

今後もintra-martパートナーとの協業を一層深めながら、多様化するニーズに応える

べく、お客様のビジネス拡大と課題解決・価値創造に貢献できる製品・サービスの拡充に努めていきます。



Excellent Partner Awardを受賞された株式会社日立ソリューションズ 理事 ビジネスイノベーション事業部 副事業部長 渡部 二郎 様(右)

Excellent Partner Award 2019年度intra-mart製品販売功績No.1

株式会社日立ソリューションズ 様

Superior Partner Award 2019年度intra-mart製品販売額の伸張率No.1

株式会社NTTデータ九州 様

Special Project Award 大規模プロジェクトや先進的なソリューションにてintra-mart販売に大きく寄与

NECネクサソリューションズ株式会社 様
日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社 様
タクトシステムズ株式会社 様
株式会社NTTデータ 様
株式会社NTTデータMHIシステムズ 様

Best Development Award intra-martプロジェクトにおける技術者提供・育成の功績および、開発力強化に貢献

株式会社サザンクロスシステムズ 様

ローコード開発プラットフォームとしての intra-mart Accel Platform



機能を「つなぐ」ことで
加速する生産性の向上

ローコード開発が俄然注目を集めている。デジタルトランスフォーメーション(DX)のトレンドにより、新たなサービスの迅速な立ち上げによって顧客へ体験価値を素早く届け、改善するサイクルに圧倒的なスピードが求められている。一方、そのスピードを実現する上で、市場ニーズの変化に伴い、事業部門の業務プロセスそのもののデジタル化とスピードアップも必要不可欠だ。ローコード開発の要諦は、アプリケーション開発やシステム化の手法へのアプローチ自体ではなく、新しいサービスのローンチや業務プロセスのデジタル化・改善をいかに早く効率よく実現し、顧客体験価値(CX)を高めるかにある。

今回は、ローコード開発プラットフォームとしてのintra-martを、ローコード開発ツールの開発に携わるイントラマート社の開発者のインタビューを通じて紹介する。



株式会社NTTデータイントラマート
開発本部 本部長
小泉 忠嗣

DXの重要性が目される今日、イントラマート社は、お客様の業務全般の効率化や自動化に貢献し、人・企業・社会・未来を「つなぐ」ための包括的なサービスを提供することをミッションとしています。開発本部はこのミッションの下、intra-martにおける開発生産性とデリバライムのさらなる向上をみなさまへ提供し、顧客第一主義をモットーにローコード開発プラットフォームとしてのintra-martの機能拡充を進めています(図1)。その中でも今特に注力している製品

が「IM-BloomMaker」です。シチズンディベロッパーも利用可能な画面作成機能やintra-martの既存の各機能との連携の充実を目指し、新機能を次々とリリースしています。今回は、ローコード開発ツールの開発に精力的に携わっているプロダクトディベロップメントグループのメンバー、埜・榎本・武藤がIM-BloomMakerに焦点を当ててintra-martのローコード開発について語ります。

図1 ローコード開発プラットフォームとしてのintra-mart

業務プロセスの管理	・IM-BPM / CaseManagement
業務画面	・IM-BloomMaker IM-FormaDesigner
業務ロジック	・IM-LogicDesigner
メタデータ管理	・IM-Repository
ビジネスルール	・OpenRules
ヒューマンワークフロー	・IM-Workflow / IM-BIS

画面作成機能に特化した
ローコード開発ツールIM-BloomMaker



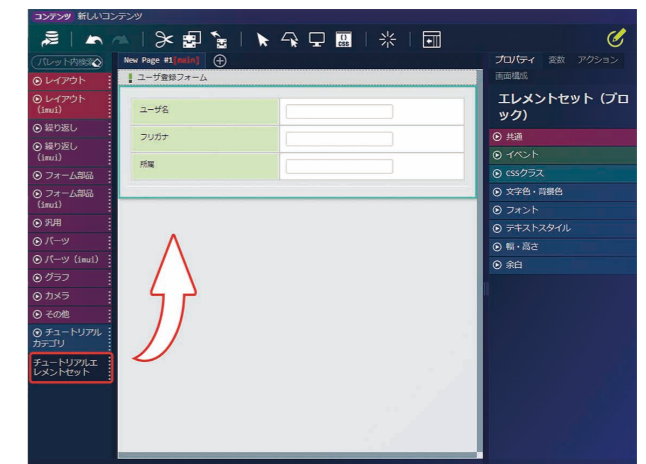
株式会社NTTデータイントラマート
開発本部
プロダクトディベロップメントグループ
埜 俊樹

IM-BloomMakerは、2019年8月にintra-mart Accel Platformエンタープライズ版で新規リリースされました。一般的なアプリケーションの開発作業では、大きく分けると画面とサーバサイドの2つを作成する必要があり、IM-BloomMakerは前者の機能に特化したツールです(図2)。ブラウザ上でエレメントと呼ばれる画面を構成する部品をドラッグ&ドロップで配置し、プロパティなどの簡易な設定をすることでアプリケーションの画面開発ができます。いちからプログラムを書く必要がなく、開発作業の負荷軽減に貢献します。アプリケーションを公開するときも資料のデプロイやサーバの再起動が不要で、ブラウザからの操作で即時反映という特長を持っています。

もう一つ特筆すべき特長として、HTMLのような表現が実現されており、CSSをそのまま適用したり、部品を入れ子

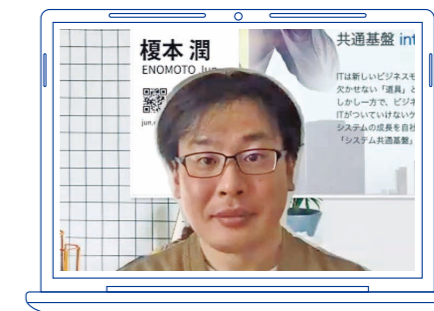
にしたりできます。IM-BloomMakerを利用することで、HTMLに詳しくないお客さまも比較的容易に自由度が高いデザインの画面を作りやすいのがポイントです。intra-martの既存の各機能と連携した部品も提供しており、今後更に追加を考えています。

図2 IM-BloomMaker 画面イメージ



エレメントのテンプレート機能によって複数のエレメントをまとめて1グループにし、テンプレートとして複数のコンテンツから使うことが可能(2020年8月リリース機能)

IM-BloomMaker誕生の秘話
開発するにあたって大事にしていること



株式会社NTTデータイントラマート
開発本部
チームリーダー
プロダクトディベロップメントグループ
榎本 潤

プロジェクトが本格的に始動したのは2018年前半でした。エレメントを配置することで誰でも簡単に画面開発ができるという意味を含めて、当初はIM-HICHEE(配置)という製品名案がありました。この名前は今でもプログラミングガイドなどに名残をとどめています。検討の結果、弊社社長の中山が花好きということもあり、bloom(咲く)という言葉を採用し、お客さまの業務にも花を咲かせてintra-martに関するビジネスを活性化させていきたいという思いを含め、IM-BloomMakerという名前に決まりました。



株式会社NTTデータイントラマート
開発本部
プロダクト・デバイス・ヘルプ・メントグループ
チームリーダー
武藤 靖之

開発するにあたってのこだわりとしては、これまでのintra-martのデザイン概念にとらわれず、ユーザフレンドリーなデザインや色合いを意識して開発しています。ローコード開発ツールとして様々な方にご利用いただきたいという思いが常にあり、いかに気持ちよく使っていただくかを目指し、使いやすい操作性・動線を試行錯誤しながら開発を進めています。画面開発の自由度が比較的高い特性から、最初に覚えるべきポイントは少ないのですが、基本操作をマスターできれば、その後は使いやすいUIになっています。部品の利用方法などは、インターネット検索やマニュアルを別途確認せずとも、画面上のヘルプですぐに確認が可能です。

IM-BloomMakerとIM-FormaDesigner どう使い分けて利用するか

業務画面開発ツールとして、IM-BloomMakerの他にIM-FormaDesignerがあります。前者は、前述の通り画面作成に特化しているツールで、項目が多い・動的な動きがあるなど複雑な画面作成にご利用をお勧めしています。IM-FormaDesignerは画面作成だけでなくDBへのデータ登録などサーバサイドの処理も自動生成されるツールです。便利な半面、画面デザインの仕様によっては実現が難しいこともありますので、簡易な帳票画面作成などのご利用にお勧めしています(図3)。

IM-BloomMakerで作成した画面にひも付くサーバサイドロジックは、IM-LogicDesignerで作成することができます。

図5 intra-mart のローコード開発ツールの使い分け

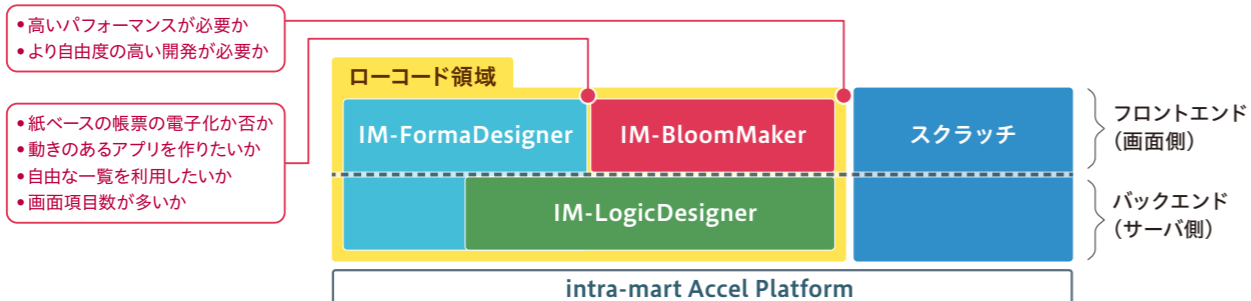


図3 IM-BloomMaker or IM-FormaDesigner ?

	IM-BloomMaker	IM-FormaDesigner
特徴	画面作成に特化している。IM-FormaDesignerより自由度が高く、アプリ画面を作成できる。	紙ベース帳票の電子化が容易。登録や参照などのサーバロジックが自動生成される。
画面デザイン	自由度が高い。CSSを独自に定義可能。	自由度は低い代わりに簡易な帳票なら簡単に作成可能。
IM-Workflow連携	2019 Winter から提供開始。2020 Spring では標準処理モジュールを開くことが可能。	簡単に連携可能。

図4 IM-LogicDesigner 画面イメージ

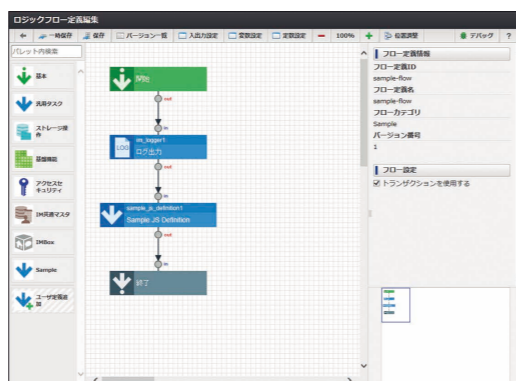


図4。ビジネスロジックの実装は、IM-LogicDesignerのリリース前は、im-BizAPIと呼ばれるJava業務コンポーネントAPIを利用してコーディングが必要でした。IM-LogicDesignerでは、ブラウザ操作でロジックを作成可能で、タスクと呼ばれるAPIをラップした処理を組み合わせ、データの変換や受け渡しを簡単に実現できます。SQLや独自処理をサーバサイドJavaScriptで作成・定義し、ビジネスロジックで利用することも可能です。さらに、ビジネスロジックはREST APIとして利用できるため、外部から呼び出せます。

ローコード開発ツールは開発の効率をアップさせるメリットがありますが、プログラムを直接修正することができないなど、制限が発生するところもあります。どのローコード開発ツールを使うか、またはスクラッチ開発とするか、開発作業に入る前に要件を基に適切に判断することが好ましいです。intra-martの場合は図5のように各ツールの利用範囲を目安として提唱していますのでご参考ください。

図6 IM-BloomMaker のロードマップ



intra-martが目指すローコード・アプリケーション・プラットフォーム像とは

長らく開発者として経験を積み重ねてきた中で、プログラムを書く作業は人によってクオリティに差が出たり時間がかかったりすることが多く、コストの元となることを痛切に感じています。intra-martを使って快適に開発作業を進めただけのよう、いかにコストを削減していくかが私たち開発本部のミッションの一つと考えます。少ないコストで高い生産性をもってお客さまの課題を解決し、企業競争力を高めていくことが重要です。

今回ローコード開発ツールとしてご紹介した3つ以外にも、intra-martのプラットフォーム上では数多くの機能をご提供しています。ローコード開発プラットフォームを実現するために、ツール単体での機能として完結するのではなく、それぞれの機能との親和性を高めるプラットフォーム

として利便性の向上を目指しています。業務プロセスを管理するIM-BPMや、IM-Workflowなど各機能間の繋がりが、連携を一体感をもって、相乗効果を発揮できるようにしていくことが目指すところです(図6)。

最後に ユーザのみなさまへ一言

いつもintra-martをご愛顧いただきありがとうございます。IM-BloomMakerをはじめintra-martは、これからさらに進化・強化を目指して改善を進めていきます。我々開発者の力だけでなく、ご利用いただくみなさまのご意見・お力添えによって製品が成り立っています。intra-martをご利用いただきお客さま、intra-martで開発するパートナー企業さま、みなさまのご意見に真摯に耳を傾け、製品開発に活かしていきたいと考えています。これからもintra-martをどうぞよろしくお願いいたします。

関連情報

intra-martのローコード開発を学べるe-learning

「[L-01]ローコード開発コース」のご紹介

IM-BloomMaker、IM-LogicDesignerを利用したローコード開発方法を詳しく学習できます。※お申込みはicottoサイトから

<https://accel.im/fz0zgn6u>



開発本部が情報発信するDeveloper SiteにてIM-BloomMakerのCookBookを公開中です

<https://dev.intra-mart.jp/tag/im-bloommaker/>

※IM-BloomMakerをデモサイトでご体験いただけます ▶ <https://www.intra-mart.jp/demosite/>



アプリケーション開発全体の65%以上がローコードに ～あなたの知らないローコードの世界～

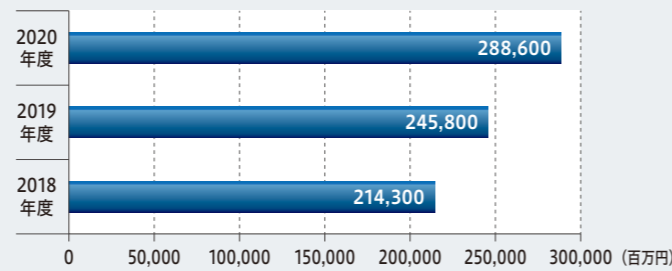
ローコード開発と一口に言っても、最低限のコードによるアプリケーション開発から、まったくソースコードを記述せずに開発するノーコード開発まで様々なツールやアプローチがあります。ただ、いずれも専門的なプログラミング言語の知識を求めず、再利用可能なコンポーネントがあらかじめ豊富に用意された開発環境で、極端に言えば、ドラッグ&ドロップだけでアプリケーション開発やシステム化を実現できる世界、それが「ローコードの世界」です。

ガートナーのレポート^(注1)によれば、2024年までに世界のアプリケーション開発全体の実に65%以上がローコードアプリケーション開発になると予測されています。一方、日本国内に目を転じて、調査会社のミック経済研究所は、ローコードプラットフォームソリューション全体市場が2018年度実績で2,143億円、2019年見込で2,458億円、そして今年度2020年度予測では2,886億円と大きく伸長する調査結果を発表しています^(図)。

また、ここ数年のローコード開発のトレンドには、IT技術者のみだけのツールや手法に留まらず、DXの大きな潮流に乗り、ユーザの現業部門自らの手による新たな商品・サービスの早期立ち上げや改善といった、いわゆる内製化が後押ししている側面があります。こうした商品・サービスを提供するためのアプリケーションや業務システム、そしてそれらを日々利用する全社の事業部門の業務プロセスをデジタル化・改善を迅速かつ低コストで実現し、一気通貫で顧客体験価値を高めることができるのです。

そうしたバリューをもって、ローコード開発プラットフォームとしてのintra-martは、DX時代を生き抜くお客さまの企業競争力を高めていきます。

■ ローコードプラットフォームソリューション市場動向



図：ミック経済研究所「DX実現に向けたローコードプラットフォームソリューション市場の現状と展望2020年度版」より

注1： Gartner, Magic Quadrant for Enterprise Low-Code Application Platforms, Paul Vincent et al., 8 August 2019
ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の責任を負うものではありません。

IM-BloomMakerで作ってみた!

イントラマート社内でも、IM-BloomMakerを用いて様々な機能が開発されています。緊急事態宣言が発令された4月以降は、働き方の変化の影響で緊急のシステム要件が発生することが特に多く、IM-BloomMakerが大活躍しています。たとえば、コミュニティサイトである「icottoサイト」では、4月から8月までの約5カ月で、ほぼ一人の担当によって10個以上もの機能がIM-BloomMakerで開発・リリースされています。

icottoサイトとは?

intra-martに関する様々な最新情報をご提供し、intra-martビジネスに関わる全てのお客さまがコミュニケーションを行うためのサイトです。

e-learningやウェビナー申込の他、intra-mart関連のイベントの開催報告も適宜情報をアップしています。



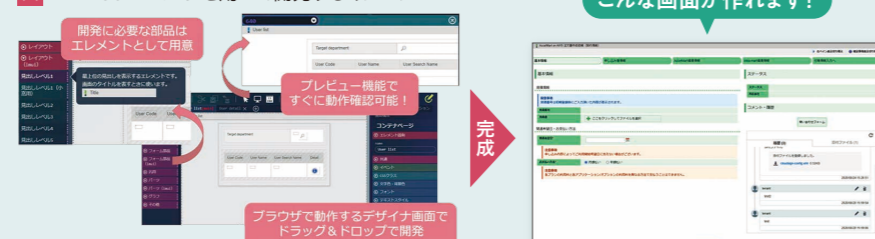
▼ ログイン・ご登録はこちらから

<https://icotto.intra-mart.com/imart/login>

icottoサイト担当者の声

画面開発はIM-BloomMaker、サーバサイドの処理はIM-LogicDesignerを用いて、短期間でちょっとした機能を作るのに最適でした。リリース後の修正も再デプロイ不要で即時反映なので、手軽に柔軟な対応ができ運用が楽です。

図 IM-BloomMakerを用いて開発するイメージ



クラウド営業支援ツール(SFA)

intra-mart DPS for Sales

『だから、活用される』イントラマートのSFA

DPS for Salesは“営業の武器”となるプラットフォームです。近年、目まぐるしく変わる環境に対応し、SFA本来の目的である「営業コストの削減、売上成果の向上」を支援します。今回はDPS for Salesの8つの特長をご紹介します。

注目の8つの特長

- 1 直感的で使いやすい**
ITリテラシーを問わず、どんなユーザーもマニュアルいらずで直感的に使いこなすことができるインターフェースです。効率化のメリットを感じられるため、日々の業務をスムーズにSFAへ移行できます。
- 2 様々なシーンで利用可能**
SFA/CRMはもちろんグループウェアを標準搭載しています。スケジュール、掲示板、ドキュメント管理、全社へのお知らせ、特定のユーザー間で情報共有ができるワークスペースなど、複数の機能が最初から使えるオールインワンサービスです。
- 3 高いカスタマイズ性**
『自分の言葉』『自分の目的』の2種類でカスタマイズが可能です。SFA内のラベル名、プルダウン内の編集といった言葉の変更、目的に合わせた項目の追加など、営業スタイルに合わせてノンプログラミングでカスタマイズができます。
- 4 段階的な拡張性**
組織や営業方針の変更に応じて柔軟にカスタマイズできる、ノンプログラミング型のSFAです。状況に合わせてアップデートを重ねることで継続的な組織の成長をサポートします。
- 5 名刺サービス同等の機能**
名刺専用サービス同等の機能を搭載し、SFAならではの名刺を活用した営業活動を行えます。これまでに会った回数や会った時の商談内容まで、ボタンひとつで簡単に振り返ることができます。
- 6 既存のExcel資産を活用**
Excelで作成したオリジナル帳票をSFA上に複数登録することができます。Excelが保持する固定値とデータベースの値を比較して予算進捗管理を行うなど発想次第で様々な管理を実現することができます。
- 7 クラウドですぐ利用可能**
DPS for Salesはクラウドサービスとして提供されます。複雑な設定をせずにすぐに利用開始できることに加え、導入企業のシステム運用コストの削減に寄与します。
※ オンプレミス提供にも対応します。詳しくは公式HP「料金」をご覧ください。
- 8 外部サービス連携**
取引先情報や商品情報、案件情報などをCSVファイルで基幹システムと連携することが可能です。提供形態によって、MAシステム連携やスケジュール連携など様々な外部連携が可能です。
※ 提供形態の詳細は公式HP「料金」をご覧ください。

2つのイベントに出展!

2020年9月2日～4日に開催された「営業支援EXPO【夏】」、9月9日～11日に開催された「BOXIL EXPO 2020」への出展を行いました! 営業支援EXPOでは特設ブースを設け、コロナ禍でも多くの方にご来場いただきました。DPS初となるオンライン展示会(BOXIL EXPO)では6分間のセールスピーチを通し、多くの企業様からお問い合わせいただきました♪



テレワーク応援キャンペーン実施中!

最大25%OFF



intra-martパートナー網を拡大中!

イントラマート社は、お客さまのDX(デジタルトランスフォーメーション)の実現に貢献し、業務プロセスのデジタル化・自動化を推進するため、一層の体制強化に取り組んでいます。コロナ禍により、従来の働き方の大きな見直しを迫られている今日、アナログ業務のデジタル化は喫緊の課題として広く認識されています。システム共通基盤「intra-mart」を核に、脱ハンコ、ペーパーレス化を促進するべく、新たに右記の企業とパートナー契約を結びました。

- JFEシステムズ株式会社**
https://www.jfe-systems.com/
電子帳簿保存ソリューション「DataDelivery」
- 株式会社サン・プランニング・システムズ**
https://www.sunplanning.co.jp/
業務プロセスの可視化、分析、改善、管理「iGrafx」
- アドビ株式会社**
https://www.adobe.com/jp/
電子サインサービス「Adobe Sign」
- 株式会社PFU**
https://www.pfu.fujitsu.com/
業務のデジタル化を推進する「ドキュメントDX」

(敬称略、順不同)

関連リンク

- 「業務プロセスのデジタル化・自動化」の推進に向けて
コンサルティングパートナー網を強化
https://www.intra-mart.jp/topics/2020/006340.html
- アドビとAdobe Sign SI/連携ソリューションパートナー契約を締結
～社内外のプロセス全体をデジタル化し、契約行為を一気に完結～
https://www.intra-mart.jp/topics/2020/006355.html
- PFU社とコンサルティングパートナー契約を締結
～ドキュメントソリューションとの連携で真のテレワーク実現～
https://www.intra-mart.jp/topics/2020/006362.html

intra-mart Accel Platform対応 注目のソリューション

intra-martパートナーが自社の強みを活かした業務ソリューションを多数構築しています。お客さまのビジネスをサポートするソリューションが続々と登場しますので、引き続きご期待ください。

中堅企業の成長を支えるBeAd(ベアド)シリーズ



刻一刻と変化するビジネス環境においては、働く場所にかかわらずリアルタイムな情報共有や迅速な顧客対応が成功を左右すると言っても過言ではありません。また、過去に蓄積されたデータの活用は新たなビジネスを生み出していく原動力にもなります。NTTデータ九州が提供するBeAd(ベアド)シリーズは、intra-martをベースとしたERPソリューションで、豊富なテンプレートをリーズナブルにご提供。中堅・中小企業様の成長をサポートします。



BeAd販売管理は食品卸業向け、電気電子機器卸業向けや、商社向け、プロジェクト型のテンプレートをご用意しています。また、お客様の業務にフィットすることを一番に考え、テンプレートをもとにお客様の業務に合わせて柔軟にカスタマイズすることが可能です。

BeAd 顧客管理は、使いやすさ、導入しやすさを追求しています。顧客情報や日報情報の蓄積だけでなくCTIと組み合わせることで、着信と同時に顧客情報がポップアップ表示されるなど、コールセンターシステムとして活用することで顧客満足度を向上させることが可能です。

BeAd会計管理は、財務会計から、実績値による指標など経営判断に重要な要素となる管理会計にも対応しています。豊富な機能を取りそろえたシステムをリーズナブルにご提供します。

Letter from Global Team

イントラマート
グローバル本部の活動紹介

イントラマート社のグローバル本部では、シンガポール・タイ・中国などを拠点に周辺各国を含め、intra-martの販売を展開しています。今回は、2009年設立の中国法人・恩梯梯数据特瑪軟件系統(上海)有限公司でサポート業務を担当する宋婷婷(ソウ テイテイ)からの手紙です。



▲宋婷婷

你好(こんにちは)!

2013年12月から恩梯梯数据特瑪軟件系統(上海)に入社して7年目の宋婷婷です。

intra-mart製品のサポート業務を中心に担当しています。具体的には、上海のパートナー様からの製品に関する操作方法や技術的な問題、利用環境に関するお問い合わせなどに回答させていただいています。製品の不具合や不調といったトラブルの解決が現場で難しい場合は、本社へエスカレーションし、迅速な対応を心がけています。また、頻発するトラブルやお問い合わせは、解決方法を当社の中国語のホームページに掲載し、パートナー様へ毎月のメール配信でご案内しています。サポートは会社の「顔」と考え、これからも責任をもって対応させていただきます。

中国でのパートナー様は、当初は日系企業が中心でしたが、近年は中国企業も着実に増えました。あらゆる企業に対応できる自信を持っています。中国でintra-martのご検討がありましたら、お気軽にご連絡ください。よろしくお願ひいたします。



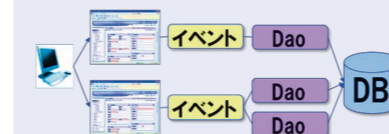
▲上海オフィス

イントラマート社の中国拠点は、上海市の中心部の一つ、人民広場から徒歩5分の便利なオフィスビルの15階にあります。ビルは古いながらも、オフィス内にはパーカウンターが設けられ、昼食時には古さと新しさが交り合う街並みを眺望しながらランチする社員の姿も。

Low-Code開発を推進するBeAd基盤

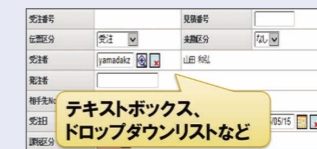
1 画面情報受け渡しの自動化

プログラム構造が統一され細かく分割されているため、再利用しやすくなっています。また構造を単純化し、処理の呼出しの簡略化や、画面情報の受け渡しを自動化しています。



2 豊富な画面部品をご提供

BeAd基盤では使用する全ての画面項目があらかじめ用意されており、入力チェックや、入力支援処理(日付、カンマ編集など)を記述する必要がありません。



3 ユーザビリティの向上

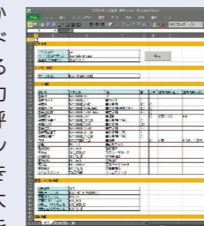
サジェスト機能やファンクションキーを使った操作などを標準装備し、利用される方の目線に立った機能を用意しています。



サジェスト機能▶

4 画面ソースコードの自動生成

Excelの設定書から画面ソースコードを自動生成できる機能があり、入力チェック子画面呼出などプログラミング不要で生成できます。これにより、大幅な生産性向上を実現しています。



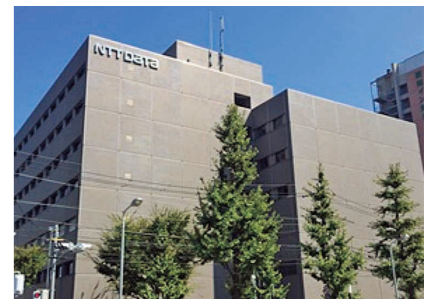
▲設定書(イメージ)

導入事例紹介中

導入事例のご紹介やデモトライアルを受付しております。詳しくはBeAd製品HPをご覧ください。



▶ <https://bead.nttdata.com/>



株式会社NTTデータ九州

〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21

☎ 092-475-5134

✉ bead-sales@hml.nttdata-kyushu.co.jp

ワークフローと電子押印機能をセットで提供

クラウドサービス Accel-Mart で テレワーク環境を素早く簡単に整える!

今回のキャンペーンでは、13年連続市場シェアNo.1^(※)に輝いたワークフローシステムを搭載した intra-mart のクラウドサービス「Accel-Mart」の利用によって、紙やハンコが必要な業務をデジタル化し、今後のテレワークを一段と推進する企業を応援します。

※ 株式会社富士キメラ総研 発行「2008～2010 パッケージソリューション・マーケティング便覧」、および「ソフトウェアビジネス新市場 2011～2020年版」より



キャンペーン概要

- ◆ 対象製品：Accel-Mart、PDF Designer、PDF 押印アイテム
- ◆ 割引内容：2ヶ月分の月額利用料(637,000円～)を無償にて提供
- ◆ 対象期間：2021年3月31日お申し込み分まで

Accel-Mart の特長

- ◆ お申込みから最短5営業日で利用可能
- ◆ 豊富な標準機能を搭載
 - ・コラボレーション機能(スケジュール/チャット/ライブラリなど)
 - ・ワークフロー/押印機能
 - ・ビジネスプロセス作成 など
- ◆ 業務アプリ開発機能でシステムを柔軟に構築

PDF 押印アイテムの特長

- ◆ PDF ファイルの任意の位置に押印が可能
- ◆ 押印順番を一覧表示する履歴機能も標準提供
- ◆ 紙とハンコの承認業務を簡単にデジタル化

本キャンペーンの
お申込み・お問合せは、
右記までご連絡ください。

▶ セールス&マーケティング本部

TEL: 03-5549-2821 E-mail: info@intra-mart.jp
<https://accel.im/iua4w1he>

